

Newsletter No.82 (2019年秋号) を読んで

**保護者の感想文**

お忙しい中レポートを書いて頂きましてありがとうございました。  
お陰様で今回で83号まで続けて来ることが出来ました。1号1号の積み重ねですが、頑張った生徒さん達のことや、お知らせしたいこと、次々と切れ目がありません。有難い事と思っています。  
ご多用の中と存じますが、またご感想を宜しくお願い致します。

代表 波多野義憲

**中・高校生の保護者の皆様から**

◆ Newsletterを拝読させて頂きました。私は特に志を生きるの「日本で外国人に寄り添う弁護士を目指す」の照屋エイジさんの記事に大変心打たれました。1人の先生との出会いがエイジさんの人生に大きな影響を与えていると思ったからです。そのことから志が高く生徒思いの熱心な指導をしてくださる波多野先生のもとに通う子どもたちは幸せで大変ありがたいことだと改めて思いました。

◆ 今回心に入ってきたのは、言葉の力のページでした。「充足、便利さ、自由」を手に入れてきた時代の中でなぜか「不満、不安、不信」というキーワードがあふれ出る現代社会。物の豊かさがあっても精神的な心の豊かさが満たされない時代である。自分も人も心の中は見えにくいからこそ、掛けられる温かい言葉に救われることもあります。気遣いのある一言を掛けることのできる人になりたいと思いますし、日本の「察する文化」のよさを意識して大事に育てていくことで、心のこもった人との関わりにつながっていくだろうと思います。

それから、今回初めて海外研修ツアーの特集を読ませていただきました。日を追っての出来事や研修の内容、パリやイギリスの風景がよく伝わってきました。

身につけた英語力とマナーを実際に海外に出て使い、表現していくという体験は、とても有意義で貴重なすばらしい日々だったことでしょう。

◆ 今回も Newsletterをじっくり読まさせて頂きました。ありがとうございます。

子供が将来英語が必要な職につくかは定かではありませんが、様々な可能性があることを念頭にH.E.H.に通わせています。最近では子供自身が積極的に英語を学び、関わり、また仲間と楽しくしている姿を見てとても嬉しく思います。意欲の高い仲間がいる環境の中で学び合うことで英語以外の

色々な能力も伸びていると感じています。

◆ Newsletter No.82を拝読し、「中3英語の学力調査結果」についての波多野代表のご意見に熟読してしまいました。私が娘をH.E.H.に通わせたかった1番の理由は、高校に入って英語がわからなくなり、英語が嫌いになったら…という不安があったからです。センター試験も変わっていく中、在学中にしっかり英語を身につけ、5教科の中で得意教科になってほしいと思い、市外からでも、授業内容が難しくても、6年間通おうと決意し、門を叩かせていただきました。

(只今、中2ですが、毎回グリーンシートにサインするのですが、今までは英単語テストで90点、80点だったのに、この度は40点!!英文になり難しくて…と、言ってます。)

我が娘は、H.E.H.では落ちこぼれですが、学校内では上位に入ってます。それは他の子がほとんど英語が出来ていない、授業では身に付いていない、とんでもない状況だと思います。週1回1時間強のレッスン本当に大事な大切な時間だと思います。親子共々頑張りますので、これからも宜しくお願いします。

◆ P29の「志は偏差値を超える」「人生は志の大きさに比例する」志に生きる。

というタイトルがまず目にとび込んできましたので、ここから読み始めました。13名の志の高い方々が、どんなジャンルで活躍されているのか、ということだけでなく、幼少期のこと、住んでいた環境のことまで書かれてあったことが、「大きな志」を抱きかけを知ることにつながり、とても興味深く読ませていただきました。ありがとうございます。

◆ 英国研修ツアーとパリの旅と合わせて第37回海外研修ツアーレポートを大変、興味深く読ませて頂きました。

言葉にして伝えきれなかった悔しさ、理解できた時の喜び等々、色々な想いを感じられた様ですが生徒の皆さんには1

日1日が色濃く、意味深くかけがえのない経験となった事が伝わりました。

また、今回の経験から自信を見つめ直し次なる目標を立て取り組まれる姿勢や、自分を支えてくれるご家族、研修中にお世話になった方々、波多野代表をはじめH.E.H.の先生方への感謝の気持ちも伝えておられ、H.E.H.での学習をしっかりと身に付けて活かしていると感じました。

H.E.H.生にはいつも感心させられ、Newsletterを読む度に自分自身の事を改める機会をいただいております。

◆ Newsletter 拝読いたしました。

今回の英国研修・パリツアーもお忙しい中波多野先生が同行され、尊敬いたします。参加されたお子さまも小学5年生から高校2年生と幅広かったです。レポートを読ませていただくとそれぞれに得たものがあり、素晴らしい経験をされたのだと思いました。

うちの娘は今あまり興味がないようですが、こういう経験ができる場所があることが誇らしいです。今回が最後かもしれないということですが、たくさん子ども達に“localから世界へ”のきっかけをつくっていただいたすばらしい功績だと思います。

◆ 英語の勉強に行き詰まりを感じていたようですが、皆さんの頑張りを读ませて頂いたおかげで、前向きに頑張ろうと思う気持ちもまた持てるようになってきています。資格を取る事で、自分がどの程度理解ができているのか確認できるのも励みになっております。

Newsletterの中には、たくさんのお言葉もあり、勇気付けられています。親子で話すきっかけにもなっており、言葉の宝物が増えていきます。

切磋琢磨できる環境の中で色々な事にチャレンジもさせて頂き、また先生方にも日々声をかけて頂き、感謝しております。まだまだ結果がついてこないことも多々ありますが、楽しく英語が学び続けられていることがありがたいです。

本人も英語に対して更なる目標をたてていますので、今後ともご指導よろしくお願いたします。

◆ この度のNewsletterでは英国研修ツアーの様子が詳細に記されていて、とても興味深くまた楽しく読ませていただきました。

参加された皆さんが充実した18日間を過ごされたのだと分かり、あらためて知る事、経験する事の大切さを感じました。

Newsletterを読ませていただくたび、人生の参考になるお話がたくさんあり、いつも良い刺激を受けております。

ご活躍されている方、頑張っている方の志をもったお姿はとても素晴らしく、のんびりしている我が子を見ると焦りを感じることがあります。我が子には一日一日の大切さを理解し、目

標を見つけ、私自身もそれに根気よく関わっていきたくらいと思いを新たにしました。

このように考える機会をいただき、先生方には感謝いたしております。

◆ 15年H.E.H.に通い学んできた、卒業生の先輩方に、勇気と希望を、感じました。皆さん、こつこつと、頑張っていて、英語だけでなく、H.E.H.で、人との関わり方、礼儀を学び、成長していると感じ自分の子にも、学んでほしいと思います。海外研修も、今後またある際は、「子供には、冒険させろ」と、いうように、1人1人行った子達の体験談を読んで、自分の子にも経験してほしいと思いました。

子供には、失敗をおそれず、H.E.H.に通いながら、沢山の経験、発言、姿勢で前進して、夢をつかんでほしいと思います。

◆ 英国研修ツアーとパリの旅を読んで、充実した研修内容に驚きました。18日間の丁寧な報告書、美しい写真をみて、参加したお子様たちを大変羨ましく思います。

志に生きるでは、世界のためにつながる活動を老若男女問わずされていることがわかりやすくとめてあった上に、ありがたい先生のお言葉が重ねてあり、子供達に良い刺激になったと思います。特にその中でも、教育とは決して盗まれることない財産である、その気持ちを胸に日々の勉強に取り組んで欲しいと思いました。今回も素敵なNewsletterをありがとうございました。

◆ 今年は、災害、ラグビーワールドカップ、首里城の火災、いろいろありました。

身近な話題としては、2021年の大学入学共通テストの英語民間試験についてでしょうか。ちょうど、11月に入り、突然延期と知りました。

一方で、波多野先生は、この件について、特別、コメントもなくNewsletterにも触れておられませんでした。

今回のNewsletterの"H.E.H.での指導法"に、指導の方針が示されており、H.E.H.の理念に基づいて指導されているお陰で、プレずに英語を学ぶことができていると、確信いたしました。

入ったときから、英語の3冠王を意識づけていただいて、当たり前のように、民間テストを受けてきたので、今回の文科省の発表にも、あまり動揺がありませんでした。単に英語を学ぶだけでなく、世界の中の日本、日本人のマナー、姿勢など、親が教えられないことを御指導頂き感謝しております。

◆ この度もNewsletterをありがとうございました。皆さんの頑張りと結果には、本当に毎回驚いております。そして刺激を受けました。

ことを教えてくれたりしています。

今はまだ少しずつですが、卒業生や在学生の素晴らしい活躍に近づいていってくれたらな、とあってしまいます。

「夢や志を叶えるための英語力」

私が今勤めている会社にも、1名ですが、外国の方がいます。その方は、英語・日本語の他にも2カ国語合わせて4カ国語が出来るそうです。

今から英語をと考えたのは、どういう生き方をするにせよ、英語力が必要になると思ったからです。

我が子にはまだ難しいですが、これからの成長を見守っていききたいです。

◆平素は決まった時間帯で会う子ども達しか知りえることがないため、Newsletterは頑張っている上級生達の顔を見ることが出来る唯一のツールとなっております。

子どもと一緒に見て海外研修レポートや写真が印象的で、「いつか私も行きたい」と言った我が子に自然とH.E.H.の生徒としての自覚が身につけているのがうれしく思いました。

先日、子どもと2人で道を歩いていると、前方を3人の若い外国人の方が歩いていました。すると「話しかけてみたい」と言ひだし、3人にかけてより、恥かしそうに「Hello」と声をかけていました。今までの娘では考えられない驚きの行動でした。

自然と英会話が身近に感じられるようになったのだと、大変うれしく、成長を感じる出来事でした。

◆いつも楽しみにしていますのは、子ども達の書く文章です。個々に自分自身を省み、分析し、そして未来への目標や希望を心に抱いている内容に頼もしさを感じ、同時に感謝を述べる礼儀正しさに品性を感じます。みずみずしい文章に感謝と応援の気持ちが湧き起こり、このすがすがしい読後感の中でまだ幼さの残る小学生の娘も先輩方のような若者になっていってほしいと思いを馳せました。

◆予習復習を（あたりまえのことですが）しっかりみるように努めています。

楽しくて週二回行っていたころの初心に戻り気持ちをひきめたいと思います。わが家には中学生の兄がおりますが、中1で学習する単語等、今、余裕がある時期に学べるのはいいことだと痛感しております。

マナーを含め、愛情あるご指導のほど今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

◆春に、イギリス研修の案内をいただき長女を誘って見ましたが、まだ「自分の殻を打ち破る」勇気はない様子でした。今回のツアー記は、興味深く読ませていただきました。（いつか自ら、行きたいと申し出があればよいのですが…。）波多

野先生のお手配やご引率のご尽力に、参加した生徒さんは、応えてくれていると思ひました。

◆海外研修ツアーの記事を特に興味深く拝読させていただきました。

研修に参加された生徒さんたちのレポートを読むと、とても充実した研修であったことがわかりました。人としても成長され、とても素晴らしい生徒さんたちだと感動しました。

そして、先生の書かれた研修ツアー記事では本当にご苦労があったことを感じ、先生の子どもたちに対する熱い思いが溢れんばかりに読みとれました。また、たくさんの方に出会いながらのツアーであったことも、これまでの先生のご指導、ご経験の素晴らしさだと思ひました。

いつの日か、我が子もこのような経験ができるよう、マナーと英語を培って欲しいと思うと共に、私自身も親として出来ることを日々努力していきたいと思ひます。

◆生徒さん達のがんばりと優秀な成績におどろきと感動を覚えます。

子供達の貴重な体験報告も楽しく拝見致しました。日本をはなれた中で生の英語の中に身をおく体験は、本当にすばらしいものであろうと推察致しました。

また日々のご指導のおかげで検定等の合格という貴重な機会をいただきました事本当に感謝申し上げます。

◆「郷土の誇り、宝の山 人材の宝庫 山口県」シリーズを、いつも楽しく読ませていただいています。知らないことがたくさんあり、とても勉強になります。若い頃は、「山口県は何も自慢できることがないな。」と思ひていましたが、こんなにたくさん誇れることがあったとは…。はずかしいのは郷土のことを何も知らずしななかった自分でした。子どもたちにもっと自国のことを勉強し、誇りを持つてほしいと思ひます。

◆英国研修ツアーを読んで、内容の濃い日程にも驚きました。波多野先生のご尽力で参加者は日本では学ぶことのできない生の英語を日々肌で感じ、刺激を受けていると感じられました。

H.E.H.ではNativeの先生からの指導を受けられることに感謝しつつ、子どもには本物の英語を身につけてもらえればと思ひます。

◆NewsletterのGlobal Eyeを読ませてもらい、グローバル化に対応する必要性を実感させられました。

実際に、私の子どもの頃は、外国人に接することは、ごくごくまれでしたが、今日町には至るところに外国の方がいらっしやいます。

改正出入国管理法の施行に伴い、望む、望まざるなしに、

共生社会に突入しました。

子ども達は幸いにも、H.E.H.でJames先生達に毎週、お話を  
する機会を与えられています。外国の方々と垣根なく、話す  
ことに幼児期から慣れることができました。大きな根っこなり  
ました。感謝しています。あとは英語力が、大きな幹となって  
くれば、とてもうれしいことですが…すごく大きな幹でなくとも、  
この共生社会を生き抜いていける英語力を少しでも、つけて  
いかせてあげたいと思います。

◆今回は「志に生きる」でご紹介されていたマララ・ユスフ  
ザイさんのことが印象に残りました。彼女は2014年「子供  
や若者たちへの抑圧、そしてすべての子どもたちへの教育  
の権利のために闘ってきたこと」を評価され、17歳でノーベ  
ル平和賞受賞しました。

彼女の強い意志と行動力には感銘をいたしました。彼女も  
たびたび語っているお父様もまた素晴らしいので備忘のため  
に記します。

残念ながらですが、パキスタンを含め女性や女子の権利が  
低かったり、学ぶ機会を与えられない国や地域は数多くあり  
ます。その中で、マララさんのお父様は女子も学ぶことが  
できる教育機関を設立し、娘をはじめ女子を含めた地域の子  
どもたちを学ばせています。彼は「私が自分の学校の女子学

生に教えたのは、服従の教えを学ばないこと。男子学生に  
教えたのは、偽りの名誉の教えを学ばないことだった」と語り  
ました。かの地において「自ら考え、正しいと思う行動をす  
ること」を喜び応援することは、日本では想像もできないほど  
困難なものだと理解できるからこそ、マララさんのお父様の志  
の強さを感じずにはられません。その父の教えがあったか  
らこそマララさんのような人が育ったのだと感じます。

親である私も、恥ずかしくない生き方をしなければと気持ちを  
引き締めた次第です。

H.E.H.で学ばせていただいている子ども達は、英語だけ  
ではなく、国際情勢の話、マナーの話、先人の話などから知  
らないうちにたくさんの知見を得ていると思います。

そしてそれらを自分の知識や経験とともに咀嚼することで、  
人間性に深みが増すのでしょう。マララさんとまではいかない  
にしても、世のため人のために動くことができる人になってほ  
しいと願ってやみません。

「英国研修とパリの旅」。生徒たちがその若く瑞々しい感性  
で、英国やフランス共和国の「今」と接することができたこ  
とは、その後の学びに大きく影響を与えることでしょう。

再開にあたっては多くの関係者のご尽力があったこと、また、  
15名の生徒を無事に帰国させるまで引率された波多野先生  
のご苦勞は大変なものであったと推察いたします。

## 〔HOUSE での授業やアクティビティ風景〕



みんな姿勢よく授業を受けています



楽しい  
アクティビティ  
ハロウィン &  
イースター

